

	老年看護学概論	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー3に基づく。高齢化率が28%と超高齢社会にある中で、社会の変化に伴い、高齢者の生き様、価値観は変容し多様化している。少子高齢化、核家族や単身世帯の増加などにより、学生は異世代との交流が希薄な中にある。しかし老年期の対象は、学習者にとって「人生の先輩」に当たる。対象は、どのような人生を歩み、また歩んでいくのだろうか。取り巻く環境の現状や課題は何か。老年看護学概論では「対象理解」の基盤と「老年看護の基本的な考え方」を軸に、老年期を捉えていく。</p>		
授業形態	講義 グループワーク		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の発達課題と特徴がわかる。</li> <li>2. 高齢者をとりまく社会環境がわかる。</li> <li>3. 老年看護の役割と機能についてわかる。</li> <li>4. 高齢者と家族との関係について理解し、多角的な視点が持てる。</li> <li>5. 高齢者の尊厳や人権を尊重し、支援する姿勢が持てる。</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1回目 高齢者の特徴 高齢者にとっての健康 高齢者になったら (演習)</li> <li>2回目 加齢に伴う変化① (演習) / 高齢者のイメージ振り分け (グループワーク)</li> <li>3回目 加齢に伴う変化② (演習) / 高齢者のイメージ振り分け (グループワーク)</li> <li>4回目 高齢者を取り巻く社会 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者の生活と家族</li> <li>2) 高齢者が生活する場</li> </ol> </li> <li>5回目 高齢者看護の基本</li> <li>6回目 高齢者看護に関わる諸理論 高齢者看護における倫理</li> <li>7回目 高齢者看護におけるチームアプローチ 高齢者のリスクマネジメント</li> </ol>		
使用テキスト・参考書	<p>老年看護学 ①高齢者の健康と障害 ②高齢者看護の実践 (メディカ出版)</p>		
事前・事後学修 (学習を促進できる学修)	<p>人体の構造と機能「老化のしくみ」のまとめ学習  高齢者白書 (内閣府) 第1章第1節高齢化の状況より「高齢化率」「家族と世帯」第2節高齢期の暮らしの動向の特徴をまとめ学習 (ネットでアクセスできます。)</p>		
評価基準・評価方法	筆記試験で評価		
備考			